



今年4月から 子ども医療費無料化拡大を

河合 克平議員

早い段階で手続きを踏まえ進めたい

市長

問 平成22年度に小学生に拡大されてから、子ども医療費助成は拡大されなかった。日本共産党議員団は、中学生までの子ども医療費の無料化を求める市民の請願の紹介議員となり、延べ1万7千筆の思いを、署名で議会に届け、議会から市政に実現を議題にしてきた。

答 平成31年3月には、中学校卒業まで、令和2年4月から高校生の医療費も完全無料化をするように請願を提出した。

紹介議員として10回の請願、1回の条例提案は、いずれも否決となった。子ども医療費助成の拡大の経緯は。

答 平成30年8月から中学生の通院の助成を拡大し、自己負担額の3分の2を助成した。

令和2年4月から、対象年齢を拡大し、中学生の入院・通院の窓口無償化にし、中学校卒業から18歳年度末までの入院は

全額、通院は3分の2を償還払いで助成している。

問 子ども医療費の無料化について、令和4年4月から行うような体制、臨時議会も含めてしていくような体制は取れないのか、市長の決意は。

安心安全な佐屋駅 周辺整備の前進を

問 様々計画、各協議も行われる中で、政治的な解決が必要な時期だ。市長の決意は。

答 佐屋駅は、昭和53年に都市計画決定がされている。20年以上実行、検討されていない。その計画では、整備は不可能と判断している。市としては、安

全確保等を考慮して佐屋駅前整備を行うため、現在計画を進めている。まず都市計画変更をし、実現可能性を示し、県並びに鉄道事業者と一緒に進める。地権者、地域の賛同も得るなか、できるだけ早く取り組みを進めたい。



▲佐屋駅整備4案のうちのC案